

進路だより Vol.2

令和 8年 7月17日

石川県立錦城特別支援学校

支 援 課

各学部の進路指導の取組み、授業や作業学習、就業体験実習の様子、福祉施設の状況、卒業生の様子や進路に関する行事等について、保護者の皆様に情報をお伝えしていきたいと思います。進路に関する不安や悩み事等がございましたらお気軽にご相談ください。

高等部 前期就業体験実習

6月11日(木)に前期就業体験実習激励会があり、実習を始める前に生徒たちは実習先や目標を発表しました。6月15日(月)～6月26日(金)の2週間、前期就業体験実習に取り組みました。1年生は校内で実習を行い、2、3年生は、一般企業や福祉事業所での校外実習をしました。7月9日(木)は前期就業体験実習報告会があり、実習で頑張ったことや大変だったこと、自分が立てた目標に対する振り返りなどを発表することができました。

実習では、どの生徒も自分が立てた目標を意識して真剣に取り組んでいました。実習でできたことを自信にし、今回見えてきた課題については今後の学校生活の中で自ら改善を図り、さらにレベルアップしていけるように取り組んでいきましょう。実習の様子を一部ご紹介します。

実習激励会の様子



校内実習の様子



ワックスがけ



製品づくり



畑作業



箱折り



ピッキング作業



販売活動

一般企業、福祉事業所の様子



実習報告会の様子



卒業後の進路を考える研修会

7月1日(水)に本校及び地域の保護者の方や先生方を対象に研修会を行いました。研修会では、「学校での学び」と「社会での自立」をつなぐ～地域企業・ジョブコーチと考える、小・中・高から始める就労支援～をテーマに、ジョブコーチとしてこまつ障害者就業・生活支援センターの西川様、金島様、地域企業として株式会社岸グリーンサービスの岸様、大同工業株式会社の角谷様を講師にお招きし、お話をいただきました。「発達に遅れがあるけど、卒業して働くために誰に相談できるのか」「卒業して働くために今からどんなことを指導・支援していけばよいか」等、進路を考えていく上で出てくる様々な疑問や心配事について具体的な事例を交えながら説明していただきました。



保護者の方からは、「企業での就労の様子を具体的に聞いてイメージがもてた」「就職後も子どもについて相談できる事がわかり安心した」「挨拶ができる等、毎日家庭や学校でしている経験が社会に出る準備になっている事に改めて気づいた」等の感想があり、障害のある児童生徒の卒業後について考える有意義な時間となりました。